

# お盆号法話

仏教で有名な言葉「諸行無常」・・・この言葉の本来の意味は、一切は常に変化をしているということです。人生とは、その変化に対応すること、良いことは続かないが、嫌なことでも続かないのです。人生を諦めてはいけなしいし、逆に、油断してはいけなしいです。

お釈迦様は、人生の生老病死は、思い通りに行きませんと説かれました。自分の思い通りに行くのが当たり前だと思ったり、思い通りに行かせようと思えば思うほど、苦しむことになります。人生では、自分の期待したものは違うものが出てくることが多いわけですが、それを、楽しめるようになれば人生の達人です。思い通りいかなかったら、「ああ、予定どおりだな」と、そして、思いがけず、思い通りに行ったら、感謝して下さい。

また、世の中、何が不幸で、何が幸福かなど、わからないのです。私は、自分に都合の悪いことが起こった時、自分を不幸だと思つよりも、それは、仏様が私に与えてくださった、最善の道であり、尊いことに気付かせてくれる修行なのだと思えることに勤めています。

## 終活

先日、『ガイアの夜明け』というテレビ番組で、最近、終活する方が増えてきたということを知りました。終活というのは、人生の締めくくりに対して、準備をすることです。そして、その締めくくり方を考える本、終活本が、ずいぶん出ているそうです。自分が亡くなることで、一番の心配事は何か?というアンケートで第1位は、残された家族について、第2位は、自分のお墓や葬儀についてだそうです。最近、他人同士が同じ墓に入る、墓友というが流行っているそうですね。法徳寺の合祀墓を希望される方も、昨今、大変、多くなっています。元氣なうちに、心配事を少しでもクリアーにして、今を楽しみ過ぎてお終活という方が増えてきているということなのかもしれません。

## 法友

同じ宗教で結びついた関係を法友といいます。親鸞様は、みんな同じ阿弥陀如来様の救いの船に乗せて頂いている友人であり、今既に、その船でお浄土への旅をさせてもらっていると説かれました。みんなで、人生のさまざまな景色を楽しんでみましょう。皆さんは、自分自身の人生のラストシーンを考えたことがありますか?

それは、誰にも、わかりません。しかし、これだけはいます。今既に、阿弥陀如来様の船に乗せて頂いているのですから、必ず、阿弥陀様に導かれ、お浄土へ参らせて頂くのです。それは、阿弥陀様が、決めて下さっているのです。私たちは、その救いにお任せするだけです。

## 生きる使命

最近、ブータンという国が目まぐるしく注目されています。幸福度が高い国だといわれています。仏教国であるブータンは、国民の幸せゾーンが広いのです。例えば、現世が幸せでなくても、生まれ変わって、来世で幸せになればいい。自分が幸せでなくても、家族が幸せであればいい、家族の幸せな顔を見るだけで幸せを感じる。とても、素晴らしいと思いました。

皆さんの生きる使命は何ですか?使命とは命を使うと書きます、命がけということなんです。私たちは、命がけにならない限り、なかなか仏様には出会えないのです。それほど、人間に生まれ阿弥陀様に出会うことが出来るのは、本当に難しいのです。皆様は、今の世に生まれた使命を達成しているのです。

それには、愛することを失うという悲しみを味わった方も多いいと思います。でも、亡き方は、既に、阿弥陀様となられているのです。皆さんが、阿弥陀様に出会えたことを、とても、喜んでおられます。

## 俱会一处

(阿弥陀如来様の浄土でまた出会うことが出来る)

大切な方を亡くされた方は、生きていたことの有難みを、とても感じると思います。明日も、当たり前に来ると思いがちですが、しかし、そう思っている瞬間にどうなるかわかりません。私は、僧侶になってよかったと思うのは、人の死と向き合うことで、生きる意味とかが有難みを感じられることです。そして、浄土真宗の有難いことは、また、会える世界があるということです。その教えにより、死を受け入れられる方も多いいと思います。死の先が、真つ暗闇であれば、死ねたもんじゃありません。今年も、お盆の時期がまいりました。亡き方を偲ぶと共に、自分自身のいのちの行き先を考えてみてください。

## ハナミズキ

私の大好きな曲『ハナミズキ』を紹介いたします。この曲は、アメリカで起こった同時多発テロ9・11で亡くなった方の鎮魂のために作られたと聞きました。この歌詞を味わうと、気付くことがあ

ります。現世と来世の間に流れる川をイメージ出来ます。二行目の「水際まで来てほしい」とは、亡くなった方の姿をもう一度見たいという思いです。八行目の「一緒に渡るには きつと船が沈

## ハナミズキ

作詞 一青窈  
作曲 マツコタツロウ

空を押し上げて 手を伸ばす君 五月のこと  
どうか来てほしい 水際まで来てほしい  
つぼみをあげよう 庭のハナミズキ  
薄紅色の可愛い君のね 果てない夢がちゃんと  
終わりますように 君と好きな人が  
百年続きますように  
夏は暑過ぎて 僕から気持ち重すぎて  
一緒に渡るには きつと船が沈んじゃう  
どうぞゆきなさい お先にゆきなさい  
僕の我慢がいつか実を結び  
果てない波がちゃんと 止まりますように  
君と好きな人が 百年続きますように  
ひらり蝶々を追いかけて 白い帆を揚げて  
母の日になれば ミズキの葉 贈って下さい  
待たなくてもいいよ 知らなくてもいいよ  
薄紅色の可愛い君のね 果てない夢がちゃんと  
終わりますように 君と好きな人が  
百年続きますように 僕の我慢がいつか実を結び  
果てない波がちゃんと 止まりますように  
君と好きな人が 百年続きますように

んじゃう どうぞゆきなさい お先にゆきなさい」は、一緒に  
行けないけれど、私も、いつか、必ずあなたが待つ向こう岸に行  
くよ、十五行目の「待たなくてもいいよ 知らなくてもいいよ」  
は、私のことは、心配しなくていいよという現世に生きる者の  
思いを歌っているように感じます。

法話 法徳寺 住職 伊東英幸

# お盆法要

すべての回、法要時間は約30分です。

ご都合により、対象以外の回に、お参り頂いても結構です。

## 8月15日(水)

- 10時より
- 11時半より
- 13時より
- 14時半より

- 新盆対象
- 新盆対象
- 一般のお盆対象
- 一般のお盆対象

- 持ち物
- 過去帳か位牌
  - お念珠
  - お経の本
  - お供え用紙

が昨年  
も一番、  
多かった  
です。

## 8月16日(木)

- 10時より 一般のお盆対象
- 11時30分より 一般のお盆対象

の回  
昨年、空  
いてまし  
た。

法徳寺では、毎年、有縁の方々合同で、新盆法要・お盆法要をお勤めしております。

阿弥陀経に『俱会一処～阿弥陀仏の浄土で、俱(とも)に一つ処で出会う』という言葉が出てまいります。また、浄土真宗の法名には、すべて、『釈』という字が使われておりますのは、先立っていかれた、すべての方がお浄土に生まれていらっしゃるという意味です。当日は、平服でかまいません。

同封のお供え用紙にご記入の上、受付に提出して下さい。用紙は、お盆法要中、お寺のご本尊御前に、お供え致します。

# 法徳寺だより

第104号 発行  
浄土真宗本願寺派  
法徳寺  
厚木市岡田5-4-12  
TEL 046-228-3962  
住職 伊東英幸  
校正 伊東英俊  
編集 伊東祐子

## 浄土真宗のお盆の迎え方

浄土真宗は、いつものお飾りのままで大丈夫です。理由は、ご先祖はお盆の時期にだけ帰ってくるわけではないからです。いつも、帰ってきて下さっているという気持ちで、毎日お参りして下さい。



ぼくたちの  
出番はね・・

## 法徳寺壮年会研修旅行

今回、法徳寺壮年会研修旅行は、親鸞聖人ゆかりの地、茨城県へ行って来ました。特に牛久大仏(阿弥陀如来像)は、世界最大の青銅製立像というだけあって、迫力と見ごたえがありました。



全高120m  
(像高100m、台座20m)  
人が小さく見えます。



法徳寺の新しい駐車場ができました。  
601号線沿いの現在、法徳寺の看板が立っている場所です。台数は、7台駐車可能です。  
普段は、本堂北側の大駐車場で足りませんが、お盆法要などの大行事の際、主に役員さんに停めてもらおうと思っています。

## ニコニコ法話会

8月は、お休みです。

次回は、9月3日(月)  
午後1時30分～3時頃